

.....

.....

.....

1

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者 A	年齢[30]歳、勤続年数[7]年、現場経験年数[6.5] 年、階級[消防副士長]、同様の活動 [頻繁]、 任務 [隊員]
○当事者 B	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[]、同様の活動 []、 任務 []
○当事者 C	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[]、同様の活動 []、 任務 []
その他 (当事者が 4 人以上の場合)	

1 1 . 事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過 1	当事者	退避	
経過 2			
経過 3			
経過 4			
経過 5			
経過 6			
経過 7			
経過 8			
経過 9			
経過 10			

【その事例発生時の状況について】

- 事故の場合：事故が起きたのはどうしてだと思うか？
ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

体力、反射神経等身体能力が優れていた。避難・退避がうまくいった。たまたま、負傷事故にならなかった。

- ### ○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならぬという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・ 1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・ 活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	はい
・ 体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c . 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	はい
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d . 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○ 装備・資機材について

e . 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	はい
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	はい
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	はい
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○ 活動環境について

f . 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	はい
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	はい

g . 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h . 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○ 指揮・管理について

i . 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k . 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○ その他

l . その他の理由があった。

いいえ

消防分署車庫シャッターバネ損壊事故

1 発生日時

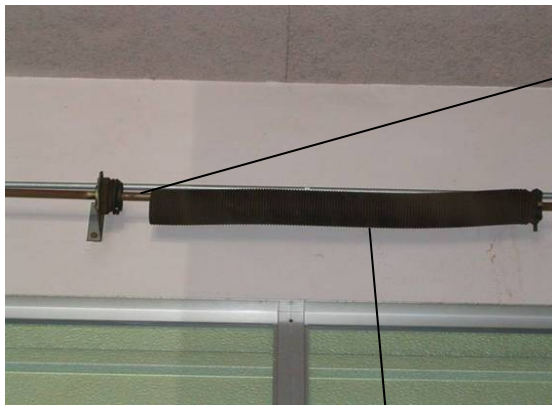
平成19年5月7日 22時頃

2 事故の状況

救急隊が活動を終了して帰署し、シャッターを閉めようとしたところ、中段から突然シャッターが落下して、コンクリートの地面に激突したもので、職員1人の肩が、シャッターに触れて、ホイッスルのチェーンが切れただけで、負傷はなかった。

3 損壊の状況

コイルバネが錆付き、経年劣化や金属疲労等によって、折れたものと判明した。



コイルバネ



4 メーカー側の確認

平成19年5月8日 11時15分に、某シャッターのメンテナンスが来庁し、確認の結果、1枚のシャッターに2本のコイルバネが装着しており、この2本と、ワイヤーも真っ赤にさびており、いつ損壊してもおかしくない状況であること。さらに、西側の無事故のシャッターも同様に、いつ切れてもおかしくない状況であったことが報告された。設置後に定期の点検をすることについては、法的には義務付けられていないものの、安全管理のために、年1回程度の定期点検は実施したほうが望ましいとの回答であった。



シャッターの重量で
変形した部分

車庫のコンクリート地面

5 定期点検の実施状況

昭和58年の分署開設以来、一度も点検は実施していない。